

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年11月29日(2012.11.29)

【公開番号】特開2011-177905(P2011-177905A)

【公開日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2011-037

【出願番号】特願2010-41654(P2010-41654)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/46 (2006.01)

B 4 1 J 3/60 (2006.01)

B 4 1 J 11/70 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/46 Z

B 4 1 J 3/00 S

B 4 1 J 11/70

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月17日(2012.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連続シートの両面への印刷を印刷手段に実行させることができ印刷制御装置であって、

連続シートの両面への印刷を前記印刷手段に実行させる際、連続シートの第1面に配置すべき複数の画像を連続して印刷させ、第1面への印刷完了後に第2面に配置すべき複数の画像を連続して印刷させる印刷制御手段と、

前記印刷手段により実行されている印刷に対する中断要因が発生したことを判定する判定手段とを有し、

前記印刷制御手段は、前記判定手段により前記連続シートの両面印刷における第1面への印刷が完了する前に前記中断要因が発生したと判定された場合に、第2面への印刷に切り替え、第1面へ印刷済み分の画像の反対面に配置すべき画像を印刷させるよう制御することを特徴とする印刷制御装置。

【請求項2】

前記印刷制御手段は、第1面へ印刷済みの画像の反対面に配置すべき画像の第2面への印刷が完了すると、新たに給紙させた連続シートの第1面へ当該第1面に配置すべき残りの画像の印刷を実行させ、第1面への残りの画像の印刷が完了した後に第2面への印刷を実行させることを特徴とする請求項1に記載の印刷制御装置。

【請求項3】

前記連続シートを切断させる切断手段をさらに有し、

前記切断手段は、前記判定手段により中断要因が発生したと判定された場合及び前記印刷手段による印刷が完了した場合に前記連続シートを切断することを特徴とする請求項1又は2に記載の印刷制御装置。

【請求項4】

前記印刷制御手段は、前記中断要因が発生する前に前記第1面に画像を印刷させて前記切断手段により切斷されたシートと、前記中断要因が発生した後に第1面に画像を印刷させて前記切断手段により切斷されたシートとを区別して排出させることを特徴とする請求項3に記載の印刷制御装置。

【請求項5】

さらに、前記中断要因が発生する前に前記第1面に画像を印刷させて前記切断手段により切斷されたシートと、前記中断要因が発生した後に第1面に画像を印刷させて前記切断手段により切斷されたシートとを異なる排出先に排出されたことを通知する通知手段を有することを特徴とする請求項4に記載の印刷制御装置。

【請求項6】

前記連続シートの両面への印刷を開始する前に、当該連続シートの両面印刷における第1面への印刷の途中で中断要因が発生するか判定する第2の判定手段をさらに有し、

前記印刷制御手段は、前記第2の判定手段により印刷の途中で中断要因が発生すると判定した場合、前記中断要因が発生する前に前記印刷手段で第1面に画像を印刷させて前記切断手段により切斷されたシートと、前記中断要因が発生した後に第1面に画像を印刷させて前記切断手段により切斷されたシートと、同じ排出先に排出した際に並び順がページの昇順又はページの降順となるように前記連続シートの両面への印刷を開始する前に印刷順序を決定することを特徴とする請求項3～5のいずれか1項に記載の印刷制御装置。

【請求項7】

前記判定手段が判定する中断要因は、連続シートの不足、連続シートのジャム、前記印刷手段が画像の印刷に用いる記録剤の不足、割込印刷のいずれかを含むことを特徴とする請求項1～6のいずれか1項に記載の印刷制御装置。

【請求項8】

連続シートの両面への印刷を印刷手段に実行させる際、連続シートの第1面に配置すべき複数の画像を連続して印刷させ、第1面への印刷完了後に第2面に配置すべき複数の画像を連続して印刷させ、

前記印刷手段により実行されている印刷に対する中断要因が発生したことを判定し、前記連続シートの両面印刷における第1面への印刷が完了する前に前記中断要因が発生したと判定された場合に、第1面へ印刷済み分の画像の反対面に配置すべき画像を印刷させることを特徴とする印刷制御方法。

【請求項9】

請求項1～7のいずれか1項に記載の印刷制御装置の各手段または請求項8に記載の印刷制御方法をコンピュータにより実現することを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するため、本発明の印刷制御装置は、連続シートの両面への印刷を印刷手段に実行させる際、連続シートの第1面に配置すべき複数の画像を連続して印刷させ、第1面への印刷完了後に第2面に配置すべき複数の画像を連続して印刷させる印刷制御手段と、前記印刷手段により実行されている印刷に対する中断要因が発生したことを判定する判定手段とを有し、前記印刷制御手段が、前記判定手段により前記連続シートの両面印刷における第1面への印刷が完了する前に前記中断要因が発生したと判定された場合に、第2面への印刷に切り替え、第1面へ印刷済み分の画像の反対面に配置すべき画像を印刷させるよう制御する。